**以下、▲印は回答任意。その他は該当する情報がある場合は回答必須（非該当の場合は空欄）。**

【連絡先】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 学部・学科・学年 |  |
| 氏名 |  | 学籍番号 |  |
| 電話番号 |  | LINE ID★ |  |
| メールアドレス[1]（慶應のもの） | @keio.jp |
| メールアドレス[2]（最も見るもの）▲ |  |

【確認事項1】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属（公認学生団体） |  |
| 所属（その他団体）▲ |  |
| A.兼ねる予定の他学部・他学科ゼミ |  |
| B.2020年度以降の留学・休学予定 |  |

【確認事項2】**笠井担当科目の受講状況（すべての科目についていずれかの列に○を書いて下さい）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名※笠井が担当したもののみ回答すること | 未受講 | 受講中 | 受講済み（取得成績を選ぶ） |
| S | A | B | C | D |
| 社会学 |  |  |  |  |  |  |  |
| 演習Ⅰ |  |  |  |  |  |  |  |
| 演習Ⅱ |  |  |  |  |  |  |  |
| 地域社会論Ⅰ |  |  |  |  |  |  |  |

【志望理由】※本ページ内に収まる分量にすること。文字サイズ・行間は変更しないこと。

|  |
| --- |
|  |

―――――この行が1ページ目に収まるようにすること―――――

**本ページの課題は「研究計画を立てる基礎的能力」を問うためのものであり、進捗状況や水準を問うものではない。入ゼミ後にまったく異なる研究を行って良い。ただし、面接では本課題についても問う。**

【卒業論文研究計画概要】

※**各枠の高さは変えても良い**が、全体として本ページ以内に収まるようにすること。

※枠（行）は減らしてはならないが、適宜、増やしても良い（項目名は自分で付けること）

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ（仮題目） |  |
| キーワード（5つ以内） |  |
| 研究の背景（個人的／社会的／学術的） |  |
| 先行研究（書誌情報だけで良い。5件程度） | 1.2.3.4.5. |
| 研究の目的（「～を明らかにすること」という記述で。） |  |
| 研究対象（場所） |  |
| 研究対象の特徴 |  |
| 研究の方法（特に調査手法を詳述） |  |
| 研究の意義（個人的／社会的／学術的） |  |
| 期待される成果 |  |

―――――この行が2ページ目に収まるようにすること―――――

―――――この行が3ページ目先頭になるように調整すること―――――

**本ページ以降の課題は「文献を読み適切に理解・要約した上で自身の意見を述べられるか」を問うものである。なお、面接では本ページ以降の課題の内容、および、選択した文献の内容について問う。**

【書評】

　次の文献のうち1冊を選び、通読した上で、3,500字～4,000字の書評を書いてください。

　参考文献を用いた場合、その一覧は文字数に含めず＜参考文献＞枠に書誌情報を列記してください。

＜1．文献の選択＞

　選択した文献の左列に「○」を入力してください。選択は1冊だけです。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 武田俊輔（2019）『コモンズとしての都市祭礼：長浜曳山祭の都市社会学』新曜社 |
|  | 徳田剛（2020）『よそ者/ストレンジャーの社会学』晃洋書房 |
|  | 五十嵐泰正（2019）『上野新論：変わりゆく街、受け継がれる気質』せりか書房 |
|  | 菅豊・北條勝貴編『パブリック・ヒストリー入門：開かれた歴史学への挑戦』勉誠出版 |
|  | 岸政彦ほか（2020）『地元を生きる：沖縄的共同性の社会学』ナカニシヤ出版 |

※どの文献を選んだか自体は、採点に影響を与えない。（●は選択のための参考情報を提示）

＜2．本文＞（約　　字）←本文入力後にWord機能を用いてカウントし、転記すること。

＜3．参考文献＞※用いた場合のみ。

|  |
| --- |
|  |